J. TEST ADレベルシラバス(暫定版)

2014年4月9日 2019年8月30日修正 J. TEST事務局/日本語検定協会

「J. TEST A~Dレベル」のシラバス暫定版です。

J. TESTの学習にぜひご利用ください。

*E~Fについては、「日本語初級学習基本項目」(ISBN9784931315808) をご覧ください。 (参考)

A~Dレベルと日本語能力試験(JLPT)とのおおよその比較は以下の通りです。

● 比較

<j.test></j.test>	<日本語能力試験(JLPT)>
(A-C レベル試験)	
A レベル (900)	: — (N1以上)
B レベル (800)	: — (N1以上)
準Bレベル (700)	: N 1 程度
C レベル (600)	: N 2 程度
(D-E レベル試験)	
D レベル (500)	: N 3 程度
E レベル (350)	: N4程度
(F-G レベル試験)	
F レベル (250)	: N 5 程度
G レベル(180)	: 一 (N 5 前半程度)

● 表の記号について

1. 略語記号の意味

1) 品詞について

名詞は(名),動詞は(動),形容詞・い形容詞を(イ形),形容動詞・な形容詞を(ダ形)とした。

2) 動詞の活用形について

辞書形は(ル), タ形は(タ), テ形は(テ), マス形は(マス), 意向形は(ウ)とした。 その他, 普通形は(普), 命令形は(命), 条件形は(条), 受身形は(受), 可能形は(可能), と した。

なお, 否定形は<否定>とした。(例;(可能<否定>))

ア 条件形について

条件形には、~たら、~ば等があるが、その場合は、(条タラ)、(条バ)等とした。

イ 受身形について

受身形では,「使われ<u>る</u>」の場合には(受)<u>ル</u>,「使われ<u>ない</u>」の場合には(受)<u>ナイ</u>,と表記した。

ウ ナイ形について

ナイ形は、(ナイ)ない、(ナイ)ず、とした。

3) 形容詞について

(イ形)と(ダ形)は、活用に応じて、(イ形)くて、(イ形)かった、(ダ形)だ、(ダ形)に、等とした。

4) その他

(名1) は一つ目の名詞, (名2) は二つ目の名詞を表す。

2. その他表記について

- 1)「文型」欄で、接続する品詞によって省略することもある助詞、また同じものを繰り返して使用することもあるものについては、() 書きとした。
 - 2)「文型」欄で、「~」は、同類語の繰り返しの際に使用した。
 - 3)「文型」欄で、「・・・」は、特に使用語彙に制限がないもの(自由要素)に使用した。
- 4)「文型」欄で、「一」は、接尾辞など、他の語と接続するものに使用した。(例: 一がい(働きがい、等))
- 5)「文型」欄で、「/」は、置換可能なものを併記する場合に使用した。(例;ようがない/ようもない)
- 6)「文型」欄で、「|」は、接続するものによって形が変わるものを区別するのに使用した。(例;つもりだ | つもりの(名))
 - 7)「備考」欄に、その文型に使用する活用形を明記した。

3. その他

- 1)「文型」欄で、「一」で分けたものについては、それぞれの形を使用した例文を併記した。
- 2)「例文」欄には、各文型について典型的な使われ方だと思われる文例のみを挙げた。

以上

シラバスAレベル

文型	備考
NM 047-4 054 421	(イ形)い以外のなにものでもない・(ダ形)以外のなにも
以外のなにものでもない	のでもない・(名)以外のなにものでもない
うございます	(イ形)うございます ※−しい→しゅう
覚えはない [1]	(タ)覚えはない
覚えはない [2]	(受)ル覚えはない
か	(テ)か
がまま(に)	(受)ルがまま
からぬ	(イ形)からぬ
ぎわ 際	(マス)際
ごたえがある	(マス)ごたえがある
ざまに	(マス)ざまに
しなに	(マス)しなに
Lも	
たい	(受)たい
倒れ(に終わる)	(名)倒れ
足らず	(名)足らず
たらん	(名)たらんと
…であろうと(…であろうと)	(名)であろうと
…でなしに…	(名1)でなしに(名2)
とあれば	(普)とあれば・(イ形)いとあれば・(ダ形)とあれば・(名) とあれば
	(ル)というような・(ナイ)ないというような・(名)というよう
というような/といったような というように /といったように	な (ル)というように・(ナイ)ないというように・(名)という
/ 2007/24 JIC	ように
といえよう	(普)といえよう・(イ形)いといえよう・(ダ形)だといえよう・
20,727	(名)だといえよう
…と(でも)いおうか(…といおうか)	(名)といおうか
…といわず…といわず	(名1)といわず(名2)といわず
とか何とか	(普)とか何とか・(イ形)いとか何とか・(ダ形)だとか何と
	か・(名)だとか何とか
ときた日には	(名)ときた日には
ともあろう…が	(名1)ともあろう(名2)が
なるもの	(名)なるもの

なればこそ	(名)なればこそ
なんぞ	(名)なんぞ
に事欠かない	(ル)に事欠かない
にしのびない	(ル)にしのびない
に照らして	(名)に照らして
にとどまらず	(名)にとどまらず
に則って	(名)に則って
~には~たが	(ル)には(タ)が
にひかえて	(名)にひかえて
にひけをとらない	(名)にひけをとらない
にもほどがある	(イ形)いにもほどがある・(ダ形)にもほどがある
によっては	(ウ)によっては
願わくば…たい	願わくば(マス)たい
のける	(テ)のける
の 侯	(名)の候
のことと	(名)のことと
05/0	(ル)のなんの・(ナイ)のなんの・(イ形)のなんの・(ダ形)
のなんの	なのなんの
のみか…も	(名1)のみか(名2)も
の様相を呈する	(名)の様相を呈する
はいうにおよばず	(名)はいうにおよばず
はいわずもがな	(名)はいわずもがな
はずみに/はずみで	(タ)はずみに
~は~で	(名)は(名)で
は何にもならない	(テ)は何にもならない
はめになる	(ル)はめになる
拍子に	(タ)拍子に
ふしがある	(普)ふしがある
ぶり/っぷり	(マス)ぶり・(名)ぶり
分(に)は	(普)分は
ほうだい	(マス)ほうだい
向きもある	(ル)向きもある
もそこそこに	(名)もそこそこに
もともと	(テ)もともと
ものとして ものとする	(普)ものとして (普)ものとする
も無理はない	(テ)も無理はない

矢先(に)	(タ)矢先
やしない	(マス)やしない
…や…(は)	(名1)や(名2)
やれ…だ…だ	やれ(名1)だ(名2)だ
ゆえん(所以)	(ル)ゆえん・(タ)ゆえん・(名)のゆえん・(名)とするゆえ
YA (<i>h</i>
ようで(は)	(マス)ようで
らしからぬ	(名)らしからぬ
~わ~わ	(ル1)わ(ル2)わ
をおして	(名)をおして
を機に	(名)を機に
をくだらない	(名)をくだらない
を境に	(名)を境に
を前提に(して)	(名)を前提に
をたよりに	(名)をたよりに
をなおざりにして	(名)をなおざりにして
をふまえて	(名)をふまえて
を経て	(名)を経て
をもって代える	(名)をもって代える
んとする	(ナイ)んとする ※する→せず

シラバスBレベル

文型	備考
合間に	(ル)合間に・(テ)いる合間に・(名)の合間に
あっての	(名)あっての
いかんだ	(名)いかん
折に(は)	(ル)折に・(タ)折に・(名)の折に
が	(ウ)が
限りだ	(イ形)い限りだ・(ダ形)な限りだ
が最後/ら最後	(タ)が最後
かたがた	(名)かたがた
かたわら	(ル)かたわら・(名)のかたわら
がてら	(マス)がてら・(名)がてら
かというと/かといえば	(普)かというと・(イ形)いかというと・(ダ形)かというと・
かというととかといえは	(名)かというと
かのごとく	(タ)かのごとく
が早いか	(ル)が早いか
~が~まいが	(ウ)が(ル)まいが
からある	(名)からある
からというもの	(テ)からというもの
感がある	(普)感がある・(イ形)い感がある・(ダ形)な感がある
兆しがある/兆しが見られる	(ル)兆しがある・(名)の兆しがある
きらいがある	(普)きらいがある
極まりない	(イ形)いこと極まりない・(ダ形)極まりない
こそ	(条バ)こそ
こととて	(ル)こととて・(イ形)いこととて・(ダ形)なこととて・(名)の
	こととて
こともあって	(タ)こともあって
始末だ	(普)始末だ
ずくめ	(名)ずくめ
ずとも良い	(ナイ)ずとも良い ※する→せず
ずにはおかない/ないではおかない	(ナイ)ずにはおかない ※する→せず
ずにはすまない/ないではすまない	(ナイ)ずにはすまない ※する→せず
すべがない	(ル)すべがない
すら	(ル)ことすら・(名)すら
そばから	(ル)そばから・(タ)そばから
それまでだ	(条バ)それまでだ

だにしない だにせず(に)	(名)だにしない (名)だにせず
たまえ	(マス)たまえ
たりとも…ない	(名)たりとも(ナイ)ない
たる	(名)たる
たるや	(名)たるや
	(マス1)つ(マス2)つ
であれ	(名)であれ
でなくてなんだろう	(名)でなくてなんだろう
ではあるまいし	(名)ではあるまいし
手前	(タ)手前
ح	(名)と
と(が)相まって	(名)と相まって
とあって	(普)とあって・(イ形)いとあって・(ダ形)とあって・(名)と
2000	あって
とあれば	(名)とあれば
といい…といい	(名1)といい(名2)といい
というところだ/といったところだ	(ル)というところだ・(名)というところだ
といえども	(名)といえども
といったら(ありはし)ない	(名)といったらない・(イ形)いといったらない・(ダ形)とい
20.3/29(8)9180/30.	ったらない
と思いきや	(普)と思いきや・(イ形)いと思いきや・(ダ形)だと思いき
2/80 · 2 · (や・(名)だと思いきや
ときたら	(名)ときたら
ところで	(タ)ところで
 ところを	(ル)ところを・(イ形)いところを・(ダ形)なところを・(名)の
CC 32	ところを
とて	(名)とて
とは	(普)とは・(イ形)いとは・(ダ形)だとは・(名)とは
とはいえ	(タ)とはいえ
 と(言わん)ばかりに	(普)とばかりに・(イ形)いとばかりに・(ダ形)だとばかり
C(H ₁), b) (6.16 y)	に・(名)だとばかりに
ともなく/ともなしに	(ル)ともなく
ともなると/ともなれば	(名)ともなると
とやら	(名)とやら
ないまでも	(ナイ)ないまでも
ないものでもない	(ナイ)ないものでもない
ながらに	(名)ながらに

まからも	ながらも	(マス)ながらも・(イ形)いながらも・(ダ形)でありながら
なしに (ル)ことなしに・(名)なしに ならでは (の) (名)ならでは (の) (名)ならでは (商) ならまだしも・(イ形)いならまだしも・(ダ形)ならまだしも・(名)ならまだしも・(名)ならまだしも・(タ形)なりに (ル)なり (ル)なり (ル)なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに (ル)にあたらない・(名)にあたらない (ル)に表わらない・(名)にあたらない (名)にあって (名)にあって (名)にあって (名)にあって (名)にかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかまけて (名)にかして (名)にかして (名)にかして (名)にして (名)にしたえない (ル)にたえない (ル)にたえない (ル)にたる (ル)には及ばない (ル)には及ばない (ル)には及ばない (ル)には及ばない (ル)には及ばない (カ)には多はない (カ)には多はまして・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にひきかえ・(名)にもまして・(ダ形)なのにもまして・(タの遅り (名)の遅り (名)の遅み (名)の遅み (名)の遅み (名)の遅み (名)の遅み (ス)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のかみ・(イ形)いのみ・(グア)はがるかない (プァ)はばからない		も・(名)でありながらも
ならでは(の) (名)ならでは (普)ならまだしも・(イ形)いならまだしも・(ダ形)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)ならまだしも・(4)なり…なり (ルー)なり(ルー)なり(ルー)なり(名)なり(名)なり(名)なり(名)なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに (ス)にあたらない (ル)にあたらない・(名)にあたって (名)にあって (名)にあって (名)にかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかたくない (名)にかまけて (名)にして (名)にしたえない (ル)によるない (ル)による (ル)にとる・(名)にひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにしきかえ・(名)にしきかえ (グラ)のにもまして・(イ形)のにしきまして・(グ形)なのにもまして・(名)にもまして (タ)のにもまして・(グ形)なのにもまして・(名)の至り (名)の至り (名)の種み (ただ・・・)のみ(ならず) み (名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(イ形)いのみ・(名)のないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないのないの	なくして(は)	(名)なくして
(普)ならまだしも・(イ形)いならまだしも・(ダ形)ならまだしも・(名)ならまだしも なり (ル)なり なり…なり (ル)なり(ル2)なり・(名1)なり(名2)なり なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに に(は)あたらない (ル)にあたらない・(名)にあたらない にあって (名)にあって に至って (名)にかっては に関わる (名)にかかっては に関わる (名)にかたってけて にかたくない (名)にかたうない・(名)にかたくない にかまけて (名)にかたくない にたまない (名)にかまけて にして (名)にして に即して (名)に即して にたえない にたえる (ル)にたえない (ル)にたえる (ル)にたえない (ル)にたえない にひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(イ形)のにもきして・(ダ形)なのにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)の種み (名)の種み (名)の種み (名)の様々 (ル)によるか・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のから (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない (ヴ)はよるろか・(名)はよるろか・(名)はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (デ)はないない (デ)はないない (ボー)はないらない	なしに	(ル)ことなしに・(名)なしに
はいるけん はいっぱい はばからない (ル)なり (ル)なり (ル)なり (ル)なり (ル)なり (ル)なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(グ形)なりに・(名)なりに (ル)にあたらない・(名)にあたらない (ル)に至る (ル)に至る (ル)に至る (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかまけて (名)にかまけて (名)にかまけて (名)にして (左妻 (ル)にたえない (ル)にたえない (ル)にたえない (ル)にたえない (ル)にたまない (ル)にはみばない (ル)にはみばない (ル)にはるにもまして (ク)のにもまして・(グ形)なのにもまして・(名)にもまして (名)の至り (名)の種み (名)の種み (名)の種み (名)のか・(名)のか・(名)のか・(名)のか・(名)にはない (声)場合ではない (声)場合ではない (声)場合ではない (声)はからない (デ)はからない (ボール)のよいにはおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (デ)はがらない (ボール)のよい (ならでは(の)	(名)ならでは
はいるり (ル)なり (ル)なり (ル1)なり(ル2)なり・(名1)なり(名2)なり なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに (ル)にあたらない・(名)にあたらない (名)にあって (名)にあって (名)にあっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかたつけて (名)にかたくない (名)にかまけて (名)にかまけて (名)にかまけて (名)にかまけて (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (応及ばない (ル)にたえない (ル)にたえない (ル)にたえる (ル)にをふく(名)に足る (ル)になる (ル)には及ばない (ル)には及ばない (か)にもまして・(グ形)なのにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(グ形)なのにひきかえ・(名)にしきかえ (名)にひきかえ (名)にひきかえ (名)にひきかえ (名)にむまして・(グ形)なのにもまして・(名)にもまして (名)の番身 (名)の種身 (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない (普)場合ではない (が)のみ・(名)はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はがらない	#-> - 1	(普)ならまだしも・(イ形)いならまだしも・(ダ形)ならまだ
なり…なり	ならまたしも 	しも・(名)ならまだしも
なりに (タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに に(は)あたらない (ル)にあたらない・(名)にあたらない (名)にあって (名)にあって (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかかっては (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかたくない (名)にかまけて (名)にして (名)にして (名)にして (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (名)に即して (左えない (ル)にたえない (ル)にたえる (ル)に及ばない (ル)には及ばない (ル)には及ばない (ル)には及ばない (カーにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ (名)にひきかえ (名)にひきかえ (名)にひきかえ (グ形)なのにもまして・(名)にもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして・(名)にもまして・(イ形)ののよくダ形)なのにもまして・(名)のをより (名)のをより (名)のをより (名)のをより (名)のをより (本)のをより (本)のをより (本)のをより (本)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(グ形)のか・(名)のから (ただ・・・)のみ(ならず) (カーにはない (音)場合ではない (音)場合ではない (音)はおろか・(名)はおろか・(名)はおろか・(名)はおろか・(名)はおろか・(名)はおろない (テ)はがらない・	なり	(ル)なり
に(は)あたらない	なり…なり	(ル1)なり(ル2)なり・(名1)なり(名2)なり
「こあって	なりに	(タ)なりに・(イ形)いなりに・(ダ形)なりに・(名)なりに
に至って に至る(まで)	に(は)あたらない	(ル)にあたらない・(名)にあたらない
にかかっては	にあって	(名)にあって
に関わる にかこつけて にかたくない にかまけて にかまけて にかまけて にかまけて にわして に即して にかして にたえない にたえる に足る には及ばない にいきかえ にはみばない にいきかえ にもゃない にひきかえ いにも~ない にもまして にもない にもまして の至り の極み にただ…)のみ(ならず) 場合ではない はおろか はかるわない はがらない にいことは、(名)に関わる (名)に関わる (名)に関わて (名)にして (名)にして (名)にして (名)にして (名)にして (名)にしたえない (ル)にたえる (ル)による (ル)には及ばない (ヴ)にも及ばない (ウ)にも可能く否定>) (タ)のにもまして・(イ形)のにひきかえ・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして・(名)にもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして・(が形)なのにもまして・(が形)なのにもまして・(名)にもまして・(名)にもまして・(名)の種み (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない (音)場合ではない はがらない (テ)はばからない	に至って に至る(まで)	(ル)に至って (ル)に至る
にかこつけて にかたくない にかまけて にかまけて にいまけて にいまけて にいまけて にいまして に即して に即して にれえない にたえる に足る には及ばない にいきかえ にはみばない にいきかえ にも~ない にもも~ない にもまして の至り の極み (名)の至り の極み (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない はがらない にいことない にいことはばからない (名)にかことはばからない (名)にかことはばない (の)にはない (の)にもはない (の)にもにすして (の)にもまして (の)のにもまして・(グ形)かのにもまして・(グ形)なのにもまして・(名)にもまして (グ)のをみ・(イ形)ののよ・(グ形)なのにもまして・(名)にもまして (グ)のをみ・(名)のをみ・(イ形)いのみ・(グ形)のみ・(にかかっては	(名)にかかっては
にかたくない にかまけて (名)にかまけて にして (名)にして に即して (名)に即して にたえない にたえる に足る には及ばない (ル)に足る・(名)に足る には及ばない (ル)には及ばない (で)にものにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ (ウ)にも(可能く否定>) にもまして (名)の至り (名)の至り (名)のをより (名)のをより (名)のをより (名)のをより (名)のをより (佐だ…)のみ(ならず) 場合ではない (第)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(ダーのをより (グーのできる)のをより (グーのできる)のをより (グーのできる)のできる (グーのできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーのできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののできる)のできる (グーののではない)ののできる (グーののできる)のできる (グーのではない)ののできる (グーのではない)ののできる (グーのできる)のできる (グーのできる)のできる (グーのではない)ののできる (グーのではない)ののできる (グーのできる)のできる (グーのできる)ので	に関わる	(名)に関わる
にかまけて にして (名)にかまけて に即して (名)に即して (名)に即して にたえない にたえる に足る (ル)に足る・(名)に足る には及ばない (ル)には及ばない (で)かえ (音)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ (ウ)にも(可能く否定>) (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして (名)の至り (名)の至り (名)のをみ (ただ・・・)のみ(ならず) 場合ではない (普)場合ではない (前)場合ではない (前)場合ではない (前)場合ではない (前)場合ではない (はがらない (テ)はばからない	にかこつけて	(名)にかこつけて
にして	にかたくない	(名)にかたくない
に即して にたえない にたえる に足る には及ばない にひきかえ にひきかえ にはも~ない にひきかえ にも~ない にもまして の至り の極み (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない はあわない はがらない に対わるない にもおわない におおり にかなわない に対からない にもいけにもにして (名)に即して (ル)には及ばない (声)にしまがえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ (ウ)にも(可能く否定)) (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして (名)の至り (名)のをり (人のをみ (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ (ル)のよ・(タ)のよ・(イ形)いのよ・(ダ形)のみ・(名)のより (カール)のよ・(タ)のよ・(イ形)いのよ・(ダ形)のよ・(名)のより (カール)のよ・(ダ形)のよ・(ダ形)のよ・(ダ形)のよ・(名)のより (カール)のよ・(ダ形)のよ・(ダ形)のよ・(ダ形)のよ・(名)のより (ア)はがらない (デ)はがらない	にかまけて	(名)にかまけて
にたえない にたえる	にして	(名)にして
に足る には及ばない (ル)に足る・(名)に足る には及ばない (音)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ (ウ)にも(可能く否定>) (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして の至り の極み (名)の至り (名)の極み (ただ・・・)のみ(ならず) 場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない はばからない (テ)はばからない	に即して	(名)に即して
には及ばない (ル)には及ばない にひきかえ (普)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのにひきかえ・(名)にひきかえ べにも~ない (ウ)にも(可能<否定>) にもまして (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして の至り (名)の至り の極み (名)の極み (ただ…)のみ(ならず) (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみみ・(おい)のみ・(ならず)とはおろか・(名)はおろか はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない	にたえない にたえる	(ル)にたえない (ル)にたえる
(普)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのに ひきかえ・(名)にひきかえ (ウ)にも(可能く否定>) にもまして (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもま して・(名)にもまして の至り の極み (名)の至り (名)の極み (ただ…)のみ(ならず) 場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない はばからない (デ)はばからない	に足る	(ル)に足る・(名)に足る
にひきかえ	には及ばない	(ル)には及ばない
ひきかえ・(名)にひきかえ ~にも~ない (ウ)にも(可能<否定>) にもまして (タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして の至り (名)の至り の極み (名)の極み (ただ…)のみ(ならず) (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ・(名)のみ・(おおろかくならず) はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はがなわない はばからない (テ)はばからない	ノーフ・キ よいこ	(普)のにひきかえ・(イ形)いのにひきかえ・(ダ形)なのに
(タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもまして・(名)にもまして の至り (名)の至り の極み (名)の極み (れ)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみみ (ただ…)のみ(ならず) (普)場合ではない (音)場合ではない (か)ことはおろか・(名)はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか (ナ)はがらない (テ)はばからない	こいさかえ	ひきかえ・(名)にひきかえ
にもまして して・(名)にもまして の至り (名)の至り の極み (名)の極み (ただ…)のみ(ならず) (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ 場合ではない (普)場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない	~にも~ない	(ウ)にも(可能<否定>)
して・(名)にもまして の至り (名)の至り (名)の極み (名)の極み (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)の み 場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない はばからない (テ)はばからない	1-++1-	(タ)のにもまして・(イ形)のにもまして・(ダ形)なのにもま
の極み(名)の極み(ただ…)のみ・(ならず)(ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ場合ではない(普)場合ではないはおろか(ル)ことはおろか・(名)はおろかはかなわない(テ)はかなわないはばからない(テ)はばからない	こもまして	して・(名)にもまして
(ただ…)のみ(ならず) (ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)のみ 場合ではない (普)場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない	の至り	(名)の至り
(ただ…)のみ(ならず) み 場合ではない (普)場合ではない はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない	の極み	(名)の極み
### おおか はかなわない はばからない (テ)はばからない	(ただ…)のみ(ならず)	(ル)のみ・(タ)のみ・(イ形)いのみ・(ダ形)のみ・(名)の
はおろか (ル)ことはおろか・(名)はおろか はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない		<i>H</i>
はかなわない (テ)はかなわない はばからない (テ)はばからない	場合ではない	(普)場合ではない
はばからない (テ)はばからない	はおろか	(ル)ことはおろか・(名)はおろか
	はかなわない	(テ)はかなわない
べからざる べからず (ル) べからざる (ル) べからず	はばからない	(テ)はばからない
	べからざる べからず	(ル)べからざる (ル)べからず

べく	(ル)べく
べくもない	(ル)べくもない
まじき	(ル)まじき
までだ/までのことだ	(ル)までだ
までもない までもなく	(ル)までもない (ル)までもなく
まみれ	(名)まみれ
めく	(名)めく
もさることながら	(名)もさることながら
も同然	(タ)も同然
ものを	(普)ものを・(イ形)いものを・(ダ形)なものを
や/やいなや	(ル)や
やまない	(テ)やまない
ゆえ(に/の)	(普)ゆえ・(イ形)いゆえ・(ダ形)ゆえ・(名)ゆえ
ろくに…ない	ろくに(可能<否定>)
をおいて	(名)をおいて
を限りに	(名)を限りに
を兼ねて	(名)を兼ねて
を皮切りに(して)	(名)を皮切りに・(タ)のを皮切りに
を禁じ得ない	(名)を禁じ得ない
をもって	(名)をもって
をもってしても	(名)をもってしても
をものともせずに	(名)をものともせずに
を余儀なくさせる/される	(名)を余儀なくさせる
をよそに	(名)をよそに
んがため(に/の)	(ナイ)んがため(※する→せず)
んばかりだ/に/の	(ナイ)んばかりだ(※する→せず)

シラバスCレベル

文型	備考
あげく(に)	(タ)あげく・(名)のあげく
あまり	(普)あまり・(イ形)いあまり・(ダ形)なあまり・(名)のあま
8029	Ŋ
以降	(テ)以降
以上(は)	(タ)以上
以来	(テ)以来
^{ラネ} 上で(は/も) 上(で)の	(タ)上で (タ)上の
え 上は	(タ)上は
³ 得る/得る	(マス)得る
- がい	(マス)がい
かいがある	(ル)かいがある・(タ)かいがある
 か否か	(ル)か否か・(タ)か否か・(イ形)いか否か・(ダ形)か否
7 17	か・(名)か否か
 限り(では/は)	(ル)限り・(ナイ)ない限り・(イ形)い限り・(ダ形)な限り・
	(名)である限り
がたい	(マス)がたい
かと思うと/かと思ったら	(タ)かと思うと
~か~ないかのうちに	(ル)か(ナイ)ないかのうちに
かねない	(マス)かねない
かねる	(マス)かねる
 かのようだ	(普)かのようだ・(イ形)いかのようだ・(ダ形)であるかの
	ようだ・(名)であるかのようだ
~か~まいか	(ウ)か(ル)まいか
からいいようなものの	(普)からいいようなものの・(イ形)いからいいようなもの
	の・(ダ形)だからいいようなものの・(名)だからいいような
	ものの
からして	(名)からして
からすると/からすれば	(名)からすると
からなる	(名)からなる
かれかれ	(イ形1)かれ(イ形2)かれ
- 気味	(マス)気味・(名)気味

きり きりだ	(タ)きり (タ)きりだ
きりがない	(条タラ)きりがない
/41-	(普)くせに・(イ形)いくせに・(ダ形)なくせに・(名)のくせ
くせに	IC .
くらいなら	(ル)くらいなら・(ナイ)ないくらいなら
- げだ	(イ形)げだ
こそすれ	(マス)こそすれ・(名)こそすれ
ことこのうえない	(イ形)いことこのうえない・(ダ形)なことこのうえない
ことだ	(ル)ことだ・(ナイ)ないことだ
ことだし	(普)ことだし・(イ形)いことだし・(ダ形)なことだし・(名)であることだし
ことなく	(ル)ことなく
ことに(は)	(タ)ことに・(イ形)いことに・(ダ形)なことに
~ことは~	(普)ことは(普)・(イ形)いことは(イ形)い・(ダ形)なこと
~	は(ダ形)だ・(名)なことは(名)だ
(で)さえ	(名)さえ
ざるを得ない	(ナイ)ざるを得ない ※する→せず
- 次第	(マス)次第
- 次第だ 次第で(は)	(名)次第だ (名)次第で
じゃないか/ではないか	(ウ)じゃないか
- 上(は/も)	(名)上
^{すえ} 末に 末の	(タ)末に・(名)の末に (タ)末の・(名)の末の
ずじまい	(ナイ)ずじまい ※する→せず
ずにはいられない	(ナイ)ずにはいられない ※する→せず
だけあって/だけに	(普)だけあって・(イ形)いだけあって・(ダ形)なだけあっ
720 85 5 67 720 12	て・(名)だけあって
だけましだ	(普)だけましだ・(イ形)いだけましだ・(ダ形)なだけまし
1211 4012	だ・(ダ形)であるだけましだ・(名)であるだけましだ
たまるか	(テ)たまるか
ためしがない	(タ)ためしがない
- っこない	(マス)っこない
ったら/ってば	(名)ったら
つつ(も)	(マス)つつ
つつある	(マス)つつある

ってば	(普)ってば・(イ形)いってば・(ダ形)だってば・(名)だって ば
- っぽい	(マス)っぽい・(名)っぽい
~という~	(名)という(名)
	(普1)というか(普2)というか・(イ形1)いというか(イ形
…というか…というか	2)いというか・(ダ形1)というか(ダ形2)というか・(名1)
	というか(名2)というか
というと/といえば/といったら	(名)というと
というものだ	(ウ)というものだ
	(普)というものではない・(イ形)いというものではない・
というものではない/というものでもない	(ダ形)だというものではない・(名)だというものではない
といった	(ル)といった・(名)といった
	(普)と言っても言い過ぎではない・(イ形)いと言っても言
と言っても言い過ぎではない/と言っても過	い過ぎではない・(ダ形)だと言っても言い過ぎではない・
言ではない	(名)だと言っても言い過ぎではない
と(は)うってかわって	(名)とうってかわって
	(ル)どころか・(ナイ)どころか・(イ形)いどころか・(ダ形)
どころか	どころか・(名)どころか
ところだった	(ル)ところだった
ドーフ <i>-</i> ブルナン	(ル)どころではない・(ナイ)どころではない・(イ形)どころ
どころではない	ではない・(ダ形)どころではない・(名)どころではない
としたって/にしたって/としたところで/に	(11) bl + (2) + bl +
したところで	(ル)としたって・(名)だとしたって
とともに	(ル)とともに・(名)とともに
となると	(普)となると・(イ形)いとなると・(ダ形)だとなると・(名)と
こ/4 の C	なると・(名)だとなると
ないことには	(ナイ)ないことには
ないことはない/ないこともない	(ナイ)ないことはない
ないではいられない	(ナイ)ないではいられない
ないものか	(ナイ)ないものか
ながら	(イ形)いながら・(ダ形)ながら・(名)ながら
- なみだ - なみに - なみの	(名)なみだ (名)なみに (名)なみの
ならない	(テ)ならない
に値する	(ル)に値する・(名)に値する
にあたって/にあたり	(ル)にあたって・(名)にあたって
に言わせれば	(名)に言わせれば

	(普)かに応じて・(イ形)いかに応じて・(ダ形)かに応じ
に応じて に応じた	て・(名)に応じて (普)かに応じた・(イ形)いかに応じ
	た・(ダ形)かに応じた・(名)に応じた
におかれましては	(名)におかれましては
	(普)にもかかわらず・(イ形)いにもかかわらず・(ダ形)に
にもかかわらず	もかかわらず・(ダ形)であるにもかかわらず・(名)にもか
	かわらず・(名)であるにもかかわらず
に限ったことではない	(名)に限ったことではない
に限って/に限り	(名)に限って
に関して(は/も) に関する	(名)に関して (名)に関する
に加え/に加えて	(名)に加え
	(ル)に越したことはない・(ナイ)ないに越したことはない・
に越したことはない	(イ形)いに越したことはない・(ダ形)であるに越したこと
	はない・(名)であるに越したことはない
にこたえ/にこたえて にこたえる	(名)にこたえ (名)にこたえる
	(ル)に際し・(名)に際し (ル)に際しての・(名)に際して
に際し/に際して に際しての	σ
に先立ち/先立って 先立つ	(ル)に先立ち・(名)に先立ち (ル)に先立つ・(名)に先
に光立ら/ 光立りと 光立り	立つ
にしては	(普)にしては・(名)にしては
 にしても/にしろ/に(も)せよ	(普)にしても・(イ形)いにしても・(ダ形)にしても・(ダ形)
(a) (b) (c) (c) (c) (d) (e)	であるにしても・(名)にしても・(名)であるにしても
 に過ぎない	(普)に過ぎない・(イ形)いに過ぎない・(ダ形)に過ぎな
	い・(名)に過ぎない
に相違ない	(普)に相違ない・(イ形)いに相違ない・(ダ形)に相違な
「一一」	い・(名)に相違ない
につけ/につけて(は/も)	(ル)につけ・(名)につけ
に伴い/に伴って に伴う	(名)に伴い (名)に伴う
にほかならない	(名)にほかならない
に基づいて/に基づき に基づいた/に基	(名)に基づいて (名)に基づいた
づく	(石川)を 2010年 (石川)を 2011年
抜きで(は)/抜きに(は) 抜きの	(名)抜きで (名)抜きの
抜く	(マス)抜く
のことだから	(名)のことだから
ので(は)あるまいか	(普)のであるまいか・(イ形)いのであるまいか・(ナ形)な
	のであるまいか・(名)なのであるまいか

(ただ/ひとり)…のみならず	(普)のみならず・(イ形)いのみならず・(ダ形)であるのみ ならず・(名)のみならず
のもと(で/に)	(名)のもと
ばかりだ	(ル)ばかりだ
ばかりに	(普)ばかりに・(イ形)いばかりに・(ダ形)なばかりに・(ダ 形)であるばかりに・(名)であるばかりに
ばかりはいられない/ばかりもいられない	(テ)ばかりはいられない
はさておき	(名)はさておき
はどうあれ	(名)はどうあれ
はともかく(として)	(名)はともかく
はもとより	(名)はもとより
ほうがましだ	(普)ほうがましだ・(イ形)いほうがましだ・(ダ形)なほうがましだ・(名)のほうがましだ
まい	(ル)まい
(まさか…)まい	(ル)まい
までして	(マス)までして・(名)までして
もかまわず	(名)もかまわず
もさしつかえない	(テ)もさしつかえない
もしない	(マス)もしない
	(イ形)くもなんともない・(ダ形)でもなんともない・(名)で
もなんともない	もなんともない
もの	(普)もの・(イ形)いもの・(ダ形)だもの・(名)だもの
ものがある	(普)ものがある・(イ形)いものがある・(ダ形)なものがあ る
ものだから	(普)ものだから・(イ形)いものだから・(ダ形)なものだから・(名)なものだから
ものなら[1]	(ル)ものなら・(ナイ)ものなら・(イ形)いものなら・(ダ形) なものなら・(名)なものなら
ものなら[2]	(ウ)ものなら
ものの	(普)ものの・(イ形)いものの・(ダ形)なものの・(ダ形)で あるものの・(名)であるものの
…も…ば、…も…	(名1)も(条バ)、(名2)も
…やら…やら	(名1)やら(名2)やら
…よし、…よし	(テ1)よし、(テ2)よし
を契機に(して)/を契機として	(名)を契機に
を問わず	(名)を問わず
を抜きにして(は)	(名)を抜きにして

を始め(とする)	(名)を始め
をめぐって をめぐる	(名)をめぐって (名)をめぐる

シラバスDレベル

文型	備考
一方だ	(ル)一方だ
^{うえ} 上に	(ル)上に・(イ形)い上に・(ダ形)な上に・(名)の上に
うちに	(普)うちに・(イ形)いうちに・(ダ形)なうちに・(名)のうち に
おかげだ	(ル)おかげだ・(タ)おかげだ・(イ形)いおかげだ・(ダ形) なおかげだ・(名)のおかげだ
おそれがある	(ル)おそれがある・(ナイ)ないおそれがある・(名)のおそれがある
- かけだ - かけの - かける	(マス)かけだ (マス)かけの (マス)かける
- がちだ - がちの	(マス)がちだ・(名)がちだ (マス)がちの・(名)がちの
	(普)かどうかにかかっている・(イ形)いかどうかにかかっ
かどうかにかかっている	ている・(ダ形)かどうかにかかっている・(名)かどうかに
	かかっている
かのようだ	(普)かのようだ・(イ形)いかのようだ・(ダ形)であるかの
1,002,7/2	ようだ・(名)であるかのようだ
…から…にかけて	(名1)から(名2)にかけて
から言うと/から言えば/から言って	(名)から言うと
からでないと/からでなければ	(テ)からでないと
からといって	(普)からといって・(イ形)いからといって・(ダ形)だからと
	いって・(名)だからといって
からには	(普)からには・(イ形)いからには・(ダ形)であるからに
ムこ日では、ハムこ日でしておこ日をば	は・(名)であるからには
から見て(も)/から見ると/から見れば	(名)から見て
h	(普)かわりに・(イ形)いかわりに・(ダ形)なかわりに・(ダ
かわりに にかわって∕にかわり 	形)であるかわりに・(名)のかわりに・(名)であるかわりに (名)にかわって
<u></u>	
くらい/ぐらい	(マス)きる (普)くらい・(イ形)いくらい・(ダ形)なくらい・(名)くらい
くらいのものだ	(音)くらい・(イ形)いくらい・(タ形)なくらい・(名)くらい
ことか	(名)こそ (本)こしか。(イエ)いこしか。(グエ)か。(タ)でもる
	(普)ことか・(イ形)いことか・(ダ形)なことか・(名)である
	ことか

ことから	(普)ことから・(イ形)いことから・(ダ形)なことから・(名)
	であることから
こととなっている/ことになっている	(ル)こととなっている・(ナイ)ないこととなっている
ことはない	(ル)ことはない
これといって…はない	これといって(名)はない
際(に)/際(に)は	(普)際・(イ形)い際・(ダ形)な際・(名)の際
最中	(テ)いる最中・(名)の最中
さえ…ば	(名)さえ(条バ)
しかない	(ル)しかない
しょうがない	(テ)しょうがない
	(普)せいだ・(イ形)いせいだ・(ダ形)なせいだ・(名)のせ
せいだ	いだ (普)せいで・(イ形)いせいで・(ダ形)なせいで・
	(名)のせいで
	(普)だけでなく・(イ形)いだけでなく・(ダ形)なだけでなく・
(ただ…)だけでなく	(ダ形)であるだけでなく・(名)だけでなく・(名)であるだけ
	でなく
たとえ…も	たとえ(テ)も
たび(に)	(ル)たび・(名)のたび
たまらない	(テ)たまらない
- だらけ	(名)だらけ
ついでに	(ル)ついでに・(タ)ついでに・(名)のついでに
olt	(普)っけ・(イ形)いっけ・(ダ形)だっけ・(名)だっけ
- っぱなし	(マス)っぱなし
	(普)つもりだ・(イ形)いつもりだ・(ダ形)なつもりだ・(名)
つもりだ つもりで	のつもりだ (普)つもりで・(イ形)いつもりで・(ダ形)なつ
	もりで・(名)のつもりで
でもなんでもない	(ダ形)でもなんでもない・(名)でもなんでもない
という	(普)という・(イ形)いという・(ダ形)だという・(名)だという
1~=1.48	(普)ということだ・(イ形)いということだ・(ダ形)だというこ
ということだ	とだ・(名)だということだ
というより	(普)というより・(イ形)いというより・(ダ形)だというより・
	(名)というより
といっても	(普)といっても・(イ形)いといっても・(ダ形)だといっても・
	(名)といっても・(名)だといっても
どうしようもない	(テ)どうしようもない
とおり(に) - どおり(に)	(ル)とおり・(タ)とおり・(名)のとおり (名)どおり

とか	(普)とか・(イ形)いとか・(ダ形)だとか・(名)とか・(名)だ
	とか
ところ	(タ)ところ
ところに/ところへ/ところを	(タ)ところに・(テ)いるところに・(テ)いたところに
とされている	(普)とされている・(イ形)いとされている・(ダ形)だとされ
	ている・(名)とされている・(名)だとされている
としたことが	(名)としたことが
としたら/とすれば	(普)としたら・(イ形)いとしたら・(ダ形)だとしたら・(名)と
	したら・(名)だとしたら
として(は/も)	(名)として
とたん(に)	(タ)とたん
11.7	(普)とともに・(イ形)いとともに・(ダ形)であるとともに・
とともに	(名)とともに
しけ限されい	(普)とは限らない・(イ形)いとは限らない・(ダ形)だとは
とは限らない	限らない・(名)とは限らない・(名)だとは限らない
レスラブ	(普)とみえて・(イ形)いとみえて・(ダ形)だとみえて・(名)
とみえて	だとみえて
1 2 2 1 2	(普)とみられている・(イ形)いとみられている・(ダ形)だと
とみられている	みられている・(名)とみられている・(名)だとみられている
ないとも限らない	(ナイ)ないとも限らない
…ない…はいない/…ない…はない	(ナイ)ない(名)はいない
など…ない/なんか…ない/なんて…ない	(名)など(ナイ)ない
~!~~	(マス)に(タ)
において(は/も) における	(名)において (名)における
にかけては	(名)にかけては
	(ル)に決まっている・(ナイ)ないに決まっている・(イ形)
に決まっている	いに決まっている・(ダ形)に決まっている・(名)に決まっ
	ている
に比べ/に比べて	(名)に比べ
に従い/に従って	(ル)に従い・(名)に従い
にしたら/にすれば	(名)にしたら
に沿い/に沿って に沿う/に沿った	(名)に沿い (名)に沿う
に対し/に対して(は/も) に対する	(名)に対し (名)に対する
に違いない	(普)に違いない・(イ形)いに違いない・(ダ形)に違いな
	い・(名)に違いない
について(は)/につき についての	(名)について (名)についての
につれ/につれて	(ル)につれ・(名)につれ

にて	(名)にて
にとって(の/は/も)	(名)にとって
に反し/に反して に反した/に反する	(名)に反し (名)に反した
によって(は)/により による によると/ によれば	(名)によって (名)による (名)によると
にわたった/にわたる にわたって/にわ たり	(名)にわたった (名)にわたって
は	(テ)は(動)
~ば~ほど	(条バ)(ル)ほど
ばかりか/ばかりでなく	(普)ばかりか・(イ形)いばかりか・(ダ形)なばかりか・ (名)ばかりか・(名)であるばかりか
はもちろん	(名)はもちろん
反面	(普)反面・(イ形)い反面・(ダ形)な反面・(名)である反面・(名)の反面
べきだ	(ル)べきだ
(より)ほか(は)しかた(が)ない/(より)ほ か(は)ない	(ル)ほかしかたない
ほど	(普)ほど・(イ形)いほど・(ダ形)なほど・(名)ほど・(名) であるほど
ほど ほどだ ほどの	(普)ほど・(イ形)いほど・(ダ形)なほど・(名)ほど・(名) であるほど (普)ほどだ・(イ形)いほどだ・(ダ形)なほど だ・(名)ほどだ・(名)であるほどだ (普)ほどの・(イ形) いほどの・(ダ形)なほどの・(名)ほどの・(名)であるほど の
まで	(テ)まで
- 向きだ - 向きに - 向きの	(名)向きだ (名)向きに (名)向きの
- 向けだ - 向けに - 向けの	(名)向けだ (名)向けに (名)向けの
ものか	(普)ものか・(イ形)いものか・(ダ形)なものか・(名)なも のか・(名)であるものか
ものだ	(普)ものだ・(イ形)いものだ・(ダ形)なものだ・(名)である ものだ
ようがない/ようもない	(マス)ようがない
ように	(普)ように・(イ形)いように・(ダ形)なように・(名)のように・(名)であるように
~ら~で	(条タラ)(タ)で
わけがない/わけはない	(普)わけがない・(イ形)いわけがない・(ダ形)なわけがない・(名)のわけがない・(名)であるわけがない

わけだ	(普)わけだ・(イ形)いわけだ・(ダ形)なわけだ・(名)なわけだ・(名)であるわけだ
わけにはいかない/わけにもいかない	(ル)わけにはいかない・(ナイ)ないわけにはいかない
割に(は)	(普)割に・(イ形)い割に・(ダ形)な割に・(名)の割に・
	(名)である割に
を…として を…とする	(名1)を(名2)として (名1)を(名2)とする
をきっかけとして/をきっかけに(して)	(名)をきっかけとして
をこめて	(名)をこめて
を中心として/を中心に(して)	(名)を中心として
を通じて/を通して	(名)を通じて
をもとに(して)	(名)をもとに

(暫定版)以上